

○ 施策評価シート（評価対象年度：平成23年度）

施策目標主管部課かい名	下水道河川部 下水道河川建設課
評価シート作成者	課長 安岡 忠司

評価対象施策目標（二課かい目標） **47 公共下水道（雨水・汚水）・河川を整備する**

1. 総合計画基本構想におけるまちづくりの目標体系での位置づけ

①基本理念	4 人々が行きかい 自然と共生する便利で快適な まちづくり
②政策目標	1 2 快適な水環境が守られるまち
③施策目標	4 7 公共下水道（雨水・汚水）・河川を整備する
④施策の方向性	1 計画的な公共下水道施設の整備 2 雨水対策 3 河川整備

2. 施策目標の達成方針

平成23年3月に策定した茅ヶ崎市下水道整備計画に基づき、次のとおり取り組みます。

公共下水道施設は、生活環境の改善をすることともに、河川や海などの公共用水域の水質を保全し、健全な水環境を守るという役割を担う重要な都市基盤であることを認識し、快適環境都市づくりに向けて計画的に公共下水道施設の整備を推進します。また、合流式下水道の緊急改善を行い、公共用水域の水質保全を図ります。さらに東日本大震災でみられるように、重要なライフラインの一つである下水道施設が被災してしまうと市民生活に重大な影響を及ぼすことに配慮して、既存施設の地震対策を推進します。

雨水対策は、下水道事業の重要な役割のひとつであり、その対策に当たっては緊急度を考慮し、雨水排除能力の確保を図る整備に加えて、面的な対策である貯留・浸透などの雨水流出抑制対策（遊水機能土地保全事業等のソフト対策）も含めた総合的な対策を推進し、浸水の少ない安全なまちづくりを目指します。

河川整備は、治水を基本としながら、心豊かな暮らしの実現に向けた整備を計画的に推進します。

3. 職員配置の状況

（24年3月31日現在）

No.	担当	職名	在課年数	No.	担当	職名	在課年数
1		参事兼課長	3年 月	16	計画担当	主任	5年 月
2	建設担当	主幹	6年 月	17	計画担当	主事	3年 月
3	建設担当	課長補佐	3年 月	18	水環境担当	担当主査	1年 月
4	建設担当	主査	14年 月	19	水環境担当	主事	4年 月
5	建設担当	主査	5年 月	20	水環境担当	主事	2年 月
6	建設担当	副主査	2年 月	21	水環境担当	主任(再任用)	1年 月
7	建設担当	副主査	4年 6月	22	水環境担当	主任(再任用)	1年 月
8	建設担当	副主査	4年 月	23			
9	建設担当	主事	3年 月	24			
10	建設担当	主事	2年 月	25			
11	建設担当	主事	1年 月	26			
12	計画担当	主幹	2年 月	27			
13	計画担当	課長補佐	7年 月	28			
14	計画担当	副主査(兼務)	1年 月	29			
15	計画担当	主任	2年 6月	30			
職員数計	22名（うち常勤	20名・再任用	2名）外	非常勤嘱託	名・臨時	名・その他	名）

4. 施策推進コスト

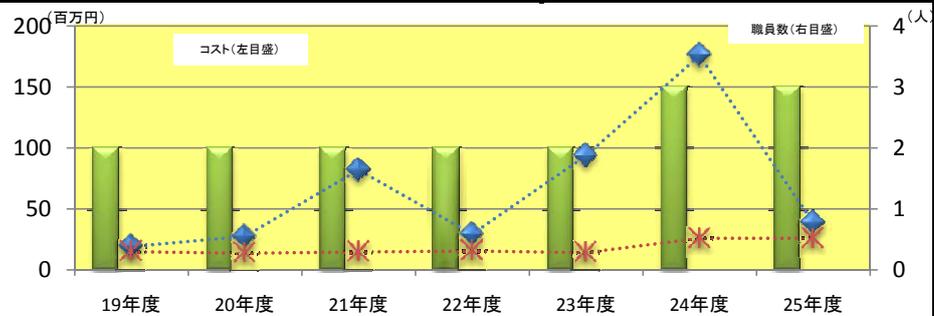
（単位：事業、職員31千円/職員数人）

一般会計	19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c	33,802	40,697	96,438	44,556	107,834	201,517	64,574
財源内訳							
国県支出金	12,520	10,363	5,309	5,438	10,475	37,874	4,372
地方債	0	0	0	0	31,800	59,400	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	21,282	30,334	91,129	39,118	65,559	104,243	60,202
事業実施に係るコスト b（折れ線グラフ）	19,043	27,301	81,909	29,353	93,822	175,717	38,774
うち委託料	0	11,000	40,806	1,643	1,037	9,585	300
従事職員に係るコスト c（折れ線グラフ）	14,759	13,396	14,529	15,203	14,012	25,800	25,800
常勤職員数（棒グラフ左）	2	2	2	2	2	3	3
再任用職員数（棒グラフ中）	0	0	0	0	0	0	0
非常勤・臨時等職員数（棒グラフ右）	0	0	0	0	0	0	0

（備考）

平成22年度 機構改革

※事業費については、棚卸しデータに基づく概算値



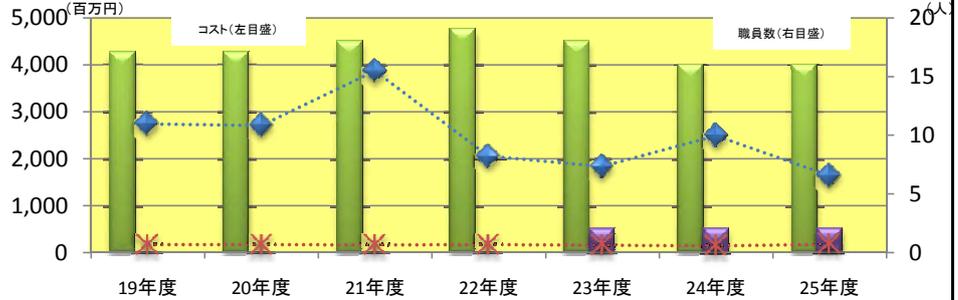
(単位：事業、職員以下千円/職員数人)

下水道事業特別会計		19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c		2,908,241	2,874,899	4,032,797	2,216,450	1,990,878	2,629,228	1,812,905
財源 内訳	特定国県支出金	819,271	772,561	1,292,857	459,441	524,700	737,916	454,976
	地方債	1,372,400	1,378,900	2,112,600	1,244,900	1,170,200	1,530,100	1,102,200
	その他	470,793	650,349	521,552	426,178	269,103	361,212	253,086
	一般財源	245,777	73,089	105,788	85,931	26,875	0	2,643
事業実施に係るコスト b (折れ線グラフ◆)		2,740,721	2,708,250	3,871,454	2,050,210	1,833,989	2,490,685	1,636,476
うち委託料		200,953	212,109	213,556	194,052	154,901	214,400	150,000
従事職員に係るコスト c (折れ線グラフ*)		167,520	166,649	161,343	166,240	156,889	138,543	176,429
常勤職員数 (棒グラフ左)		17	17	18	19	18	16	16
再任用職員数 (棒グラフ中)		0	0	0	0	2	2	2
非常勤・臨時等職員数 (棒グラフ右)		0	0	0	0	0	0	0

(備考)

平成22年度 機構改革

※事業費については、棚卸しデータに基づく概算値

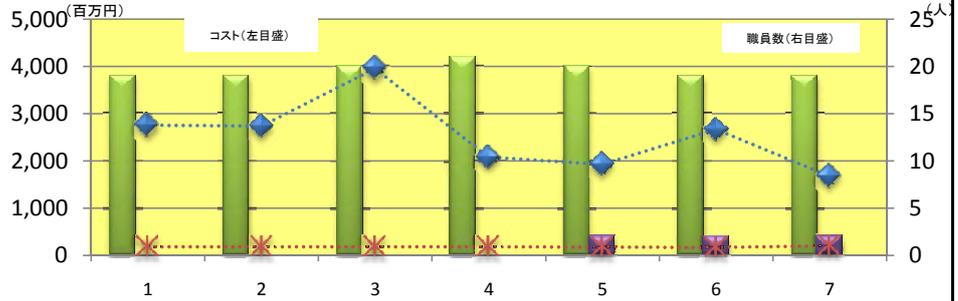


(単位：事業、職員以下千円/職員数人)

全会計 (一般会計+下水道事業特別会計)		19年度 決算額	20年度 決算額	21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
施策推進コスト a=b+c		2,942,043	2,915,596	4,129,235	2,261,006	2,098,712	2,830,745	1,877,479
財源 内訳	特定国県支出金	831,791	782,924	1,298,166	464,879	535,175	775,790	459,348
	地方債	1,372,400	1,378,900	2,112,600	1,244,900	1,202,000	1,589,500	1,102,200
	その他	470,793	650,349	521,552	426,178	269,103	361,212	253,086
	一般財源	267,059	103,423	196,917	125,049	92,434	104,243	62,845
事業実施に係るコスト b (折れ線グラフ◆)		2,759,764	2,735,551	3,953,363	2,079,563	1,927,811	2,666,402	1,675,250
うち委託料		200,953	223,109	254,362	195,695	155,938	223,985	150,300
従事職員に係るコスト c (折れ線グラフ*)		182,279	180,045	175,872	181,443	170,901	164,343	202,229
常勤職員数 (棒グラフ左)		19	19	20	21	20	19	19
再任用職員数 (棒グラフ中)		0	0	0	0	2	2	2
非常勤・臨時等職員数 (棒グラフ右)		0	0	0	0	0	0	0

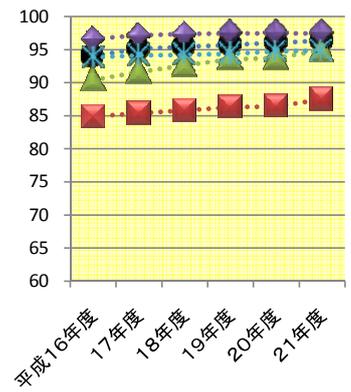
(備考)

平成22年度 機構改革



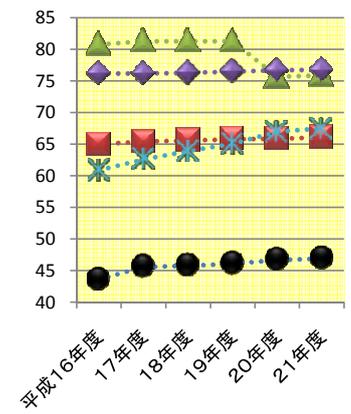
5. 施策目標の達成状況

			平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
No.	指標名	目標値	—	—	—	—	目標値
	指標算出式・定義等	実績値 進捗率	現状値	実績値	実績値	見込値	目標値
			—	—	進捗率	進捗率	100%
1	公共下水道(汚水)整備率	%	96.3	96.3	97.4	97.5	98.3
	整備済面積÷事業認可面積		—	—	56.0%	60.0%	100.0%
(指標の他団体比較)			(出所)				
団体名\年度	平成16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
茅ヶ崎市 ●	94.0	95.1	95.4	95.7	96.0	96.3	
藤沢市 ■	84.9	85.4	85.8	86.3	86.4	87.5	
平塚市 ▲	90.4	91.6	92.6	93.5	93.7	94.9	
鎌倉市 ◆	96.6	97.1	97.3	97.4	97.4	97.4	
大和市 *	93.8	94.1	94.2	94.3	94.7	94.8	



(指標の進捗状況分析)

			平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
No.	指標名	目標値	—	—	—	—	目標値
	指標算出式・定義等	実績値 進捗率	現状値	実績値	実績値	見込値	目標値
			—	—	進捗率	進捗率	100%
2	公共下水道(雨水)整備率	%	—	—	—	—	47.9
	整備済面積÷事業認可面積		46.9	47.2	47.4 (51.2)	47.6 (51.4)	47.9
(指標の他団体比較)			(出所) 各市統計データ(ただし、平塚市については、都市浸水対策達成率)				
団体名\年度	平成16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
茅ヶ崎市 ●	43.6	45.6	45.8	46.1	46.7	46.9	
藤沢市 ■	65.0	65.4	65.6	65.8	65.9	66.1	
平塚市 ▲	80.8	81.3	81.3	81.3	75.7	75.9	
鎌倉市 ◆	76.2	76.2	76.3	76.5	76.7	76.8	
大和市 *	60.9	62.6	63.9	65.1	67.0	67.5	



(指標の進捗状況分析)

污水管に比べ雨水管は、管径が大きく道路幅員等の課題もあることから、近隣市に比べ整備が遅れています。なお、平成23年度の事業認可の変更の際に、整備済面積を精査し、整備率を( )のとおり見直しました。

6. 施策目標達成のため重点的に取り組む事務事業の状況

(単位：事業費 千円)

No. 事業名 (会計区分)	指標名	事業費				
		平成21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
事業概要	事業費	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	目標値	—	—	目標値	目標値	目標値
	実績値	現値	実績値	実績値	—	—
達成率	—	—	達成率	—	—	
<b>1 公共下水道整備事業(汚水整備) (下水道特別会計)</b>	<b>公共下水道(汚水)整備率</b>					
汚水整備については、市街化区域内の未整備地域の面整備を早急に図るため、汚水整備率100%を目指して引き続き下水道管渠の整備を行います。 なお、平成23年度の汚水整備率は、97.4%で目標の進捗よく状況となっています。		決算 257,834	決算 140,590	決算 105,123	予算 203,910	予算 244,957
	%	96.3%	96.3%	97.4%	97.8%	98.3%
<b>2 合流式下水道緊急改善事業(第二工区)事業 (下水道特別会計)</b>	<b>汚濁負荷の削減量</b>					
合流式下水道の雨水吐室から公共用水域(相模湾)への放流水の量及びきょう雑物の削減を行い、公共用水域の水質保全、環境保全を図るため、放流水を一定量貯留する地下貯留施設を設置します。第二工区については、4年度継続工事の3年目であり、立坑築造工、シールド工、建設泥土分級施設工などを実施します。 なお、平成23年度汚濁負荷の削減量は、72.0%で目標の進捗よく状況となっています。		決算 16,998	決算 16,998	決算 475,110	予算 604,685	予算 0
	%	0.0%	72.0%	72.0%	100.0%	100.0%
<b>3 地震対策の推進 (下水道特別会計)</b>	<b>耐震化整備延長</b>					
東日本大震災の教訓からも、震災で下水道施設が被災した場合は、市民生活に深刻な影響を及ぼすこととなるため、下水道施設の耐震化工事を行い、地震対策を促進します。 なお、平成23年度の耐震化整備延長は、99mで概ね目標の進捗よく状況となっています。	m	決算 30,540	決算 67,142	決算 101,950	予算 129,223	予算 20,000
		53	34	99	100	79
	%	99.3%	99.3%	99.3%	99.3%	99.3%
<b>4 公共下水道整備事業(雨水整備) (下水道特別会計)</b>	<b>公共下水道(雨水)整備率/公共下水道(雨水幹線)整備率</b>					
雨水整備については大雨時における浸水の軽減を早急に図るため、浜竹雨水幹線、萩園第2雨水幹線、古相模橋ポンプ場及び雨水枝線などの整備を重点的に進めます。 なお、平成23年度の雨水整備率、雨水幹線整備率は、51.2%、90.5%で概ね目標の進捗よく状況となっています。		決算 1,334,485	決算 1,421,526	決算 1,149,135	予算 1,546,556	予算 1,931,670
	%	46.9%/88.9%	47.2%/89.6%	51.2%/90.5%	47.7%/91.6%	47.9%/92.5%
		106.5%/99.8%	106.5%/99.8%	106.5%/99.8%	106.5%/99.8%	106.5%/99.8%
<b>5 千ノ川整備事業 (一般会計)</b>	<b>河川整備の進捗率</b>					
平成23年度の工事に引き続き、上流護岸工事に必要となる用地取得のため測量等の委託業務を行います。 なお、平成23年度の河川整備の進捗率は、50.6%で目標の進捗よく状況となっています。		決算 39,781	決算 1,510	決算 63,807	予算 142,659	予算 0
	%	47.1%	47.1%	50.6%	50.6%	50.6%
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
<b>6 遊水機能土地保全事業 (一般会計)</b>	<b>補助金交付対象面積の割合(%)</b>					
浸水の軽減を図るため、一定の遊水機能を保有する市街化区域の土地所有者に補助金を交付していますが、集中豪雨により浸水が多発している中で、対象とする土地を市街化調整区域に平成21年度より拡大し、さらなる雨水流出抑制対策を推進しています。 なお、平成23年度の補助金交付対象面積の割合は、83.0%で目標に達していません。	%	決算 18,189	決算 18,375	決算 20,256	予算 21,100	予算 24,158
		75.0%	78.0%	83.0%	100.0%	100.0%
		83.0%	83.0%	83.0%	83.0%	83.0%
<b>7 雨水貯留タンク設置奨励事業(一般会計)</b>	<b>雨水貯留タンク設置基数(基)</b>					
水循環環境に配慮し、雨水流出抑制対策としての雨水貯留タンク設置を支援するため、補助金を交付します。 なお、平成23年度の設置基数は、53基で目標(40基)を上回る進捗よく状況となっています。	基	決算 9,572	決算 883	決算 876	予算 1,225	予算 1,200
		68	46	53	40	40
	%	132.5%	132.5%	132.5%	132.5%	132.5%

7. 施策目標達成に向けた取り組みの評価

① 施策目標達成に向けた指標の進捗状況	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 大きく遅れている
② これまでの取り組みと成果	<p>「施策目標の方向性」にある事業等の取り組みは、次のとおりです。</p> <p>計画的な公共下水道の整備として、市街化区域内の未整備地域の面整備を早急に図るため、市街化区域における面整備率100%を目指し、香川地区等の下水道管渠を整備しました。</p> <p>市街化調整区域は、市街化区域の整備後に整備手法の検討を予定しており、それまでは、合併処理浄化槽による汚水処理を促進しています。平成23年度は、43基の設置の助成を行いました。</p> <p>次に雨水対策については、大雨時における浸水被害の軽減を早急に図るため、浜竹雨水幹線(80.3%整備済)、萩園第2雨水幹線(75.6%整備済)などの整備を重点的に行っており、他の浸水区域においても、早期に事業着手が図れるよう設計委託を進めています。</p> <p>また、その他の取り組みとして、遊水機能土地保全事業、雨水貯留タンク設置奨励事業を実施し、遊水機能土地保全事業では、約40.23haの遊水地に補助し、雨水貯留タンクは、53基の設置補助を行いました。</p> <p>最後に河川整備については、「千ノ川整備実施計画」に基づき千ノ川流域における浸水対策として護岸整備等を行いました。以上の取り組みについて、平成23年度は、項目6の各指標からも概ね計画のとおり進捗よく状況となります。</p>
③ 課題認識と解決への方策	<p>汚水整備については、下水道整備計画に示されたとおり、市街化区域の平成28年度面整備率100%を目指し、香川や赤羽根地区等の残面積約23ha(平成23年度末)に係る整備延長約6,000mの管渠について、支障となる障害物や他企業等の移設調整等を計画的に行い、概ね1,200mの年間整備を目標として事業を進めます。</p> <p>また、市街化調整区域については、循環型社会形成推進地域計画に基づき、合併処理浄化槽設置を促進し、公共用水域の水質保全を図ります。</p> <p>雨水整備については、近年頻発する集中豪雨等により、浜竹や萩園等、市内各所で浸水区域が発生しており、これらの区域の浸水の軽減を早急に図るため、平成31年度に市街化区域の雨水幹線整備完了を目指し、残延長約1,500m(平成23年度末)を概ね200mの年間整備を目標に重点的に行います。</p> <p>また、雨水整備と併せて、市内に点在する遊水機能を有する土地の保全面積の拡充を図り、浸水被害の軽減に努めます。</p> <p>上記のあげた下水道整備については、近年、工事施工に係る工法選定等の難易度が高度化していることから、こうした業務を経験の少ない現在の若手職員が担うには、時間外による対応だけでは困難な状況です。このため、民間事業者の専門技術やノウハウを吸収することで、技術の伝承・共有化といった人材育成の観点から若手職員が難易度の高い業務も担えるよう、引き続き積算・現場技術監理等業務委託を行うとともに、委託により課題・問題点の早期解決が見込まれることから、時間外の抑制や繰越し案件の低減に繋がることで業務の効果的・効率的な執行を図ります。</p> <p>河川整備については、「千ノ川整備実施計画」に基づいて整備を進めており、平成23年度末で約50%、残延長約850mの整備状況となっていますが、財源の確保や、効果的・効率的な整備となるよう公共下水道整備事業(雨水整備)との整合性等も考慮して進めます。</p> <p>また、護岸整備に必要な用地買収、物件補償等、引き続き関係者との調整を進めます。</p> <p>なお、雨水流出抑制の啓発事業について、市民の主体的な取り組みを促すため、引き続き協働により推進します。</p> <p>最後に下水道整備事業の財政面については、平成24年4月から地方公営企業法の適用を受けており、今後更に効率的に事業を実施します。</p>
④ 議会等からの指摘・要望事項	<p>雨水対策については、整備による浸水被害軽減の成果が出ている地区もあるが、未だに浸水被害の発生する地区も多くあるので、効果的、効果的に事業を進める必要がある。</p> <p>また、汚水整備についても、未整備地域の解消に向け、下水道整備計画ののっとり、計画的に整備率100%を目指し推進する必要がある等、各事務事業について、引き続き継続し推進するよう意見を頂いた。</p>

8. 施策目標達成を目指して実施する事務事業

(単位:千円)

合計(ア) = (イ) + (ウ)    3,953,363    2,079,563    1,927,811    2,666,402    1,675,250

No.	会計区分	施策の方向性番号	事業名	24年度業務計画	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	一般会計	1	合併処理浄化槽設置整備事業		14,367	8,092	8,833	10,373	13,116
2	一般会計		千ノ川整備事業	重点事業	39,781	1,510	63,807	142,659	0
3	一般会計	3	水辺環境の基本計画の策定(駒寄川)		0	0	0	0	0
4	一般会計	2	遊水機能土地保全事業	重点事業	18,189	18,735	20,256	21,100	24,158
5	一般会計	2	雨水貯留タンク設置奨励事業	重点事業	9,572	883	876	1,225	1,200
6	一般会計	2	雨水貯留タンク普及啓発事業			133	50	360	300
	一般会計小計				81,909	29,353	93,822	175,717	38,774
7	下水道事業特別会計	1	合流式下水道緊急改善事業(第二工区)	重点事業		16,998	475,110	604,685	0
8	下水道事業特別会計	1	公共下水道整備事業(汚水整備)	重点事業	257,834	140,590	105,123	203,910	182,970
9	下水道事業特別会計	2	公共下水道整備事業(雨水整備)	重点事業	1,334,485	1,421,526	1,149,135	1,546,556	1,430,143
10	下水道事業特別会計	1	地震対策の推進	重点事業	30,540	67,142	101,950	129,223	20,000
11	下水道事業特別会計	0	庁内共通事務			3,196	2,671	6,311	3,363
12	下水道事業特別会計	0	災害応急対策活動						
	下水道事業特別会計小計①				1,622,859	1,649,452	1,833,989	2,490,685	1,636,476
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
			振り分け不能額						
			小計(イ)		1,704,768	1,678,805	1,927,811	2,666,402	1,675,250

No.	会計区分	第5次実施計画期間中に実施し、終了した事業名	平成21年度 決算額	22年度 決算額	23年度 決算額	24年度 予算額	25年度 計画額
1	下水道事業特別会計	合流式下水道緊急改善(第一工区)事業費	1,385,911	392,068	—	—	—
2	下水道事業特別会計	下町屋ポンプ場整備事業費	665,911	—	—	—	—
3	下水道事業特別会計	下水道整備計画の策定	—	8,690	—	—	—
4	下水道事業特別会計	千ノ川整備事業(下水)	196,773	—	—	—	—
	下水道事業特別会計小計②		2,248,595	400,758	—	—	—
5					—	—	—
6					—	—	—
7					—	—	—
8					—	—	—
9					—	—	—
10					—	—	—
11					—	—	—
12					—	—	—
13					—	—	—
14					—	—	—
		小計(ウ)	2,248,595	400,758	—	—	—

(備考)

※概算値

※項目4と項目8の関係については、次のとおりです。

1 「一般会計」分＝一般会計小計

2 「下水道事業特別会計」分＝下水道事業特別会計小計①＋下水道事業特別会計小計②

※平成23年度の下水道事業特別会計の決算額には、特例的支出が含まれています。